

次の登校は4月8日（水）です。

7：50登校完了、8：00～SHR となります

新2・3年生へ

今回は進路指導部の主任の先生に原稿を依頼して、書いていただきました。

2つの可能性

みなさんは、夢や目標を持っていますか？私は持っていませんでした。特にやりたいことも興味があることもありませんでした。なんなら「今でもない」と言い切れるくらいです。

近年特に、やりたいことが見つからない者が評価されにくい時代になってきました。「答えのない問いに・・・」みたいなことを言っている人が、やりたいことを明確に述べる事ができる学生をまるで正解の生き方だと主張するからです。

題にある2つの可能性とは、「possibility」と「potential」です。「possibility」には、○の可能性という具合に、○○の部分に具体的な夢や目標のようなものが入ります。この意味の可能性を生きれば、そこには取捨選択が待っています。それが必要なことなのか不必要なのか。木によじ登って実をとるのに必要な枝のみを使ってもぎ取るイメージでしょうか。一方「potential」は潜在能力であって、とくにゴールの形を必要としない可能性です。こちらは樹木の立場で、育ったら立派な実がなっちゃったイメージです。後者は実がなる方向とは全く逆の方向にも枝葉を伸ばし、見えない地下にそれ以上の根を張り巡らせます。結局立派な実はついたものの、それが逆方向の枝葉や根っこがどのように影響していたかはよくわかりません。ですが、結果それらが必要なパーツであったことは明らかでしょう。



夢や目標をもつことはいいことです。ですが、最重要項目ではないと思います。今の君たちの見る夢や目標は、成長とともに変わるのが普通だからです。なにしろ成長すれば知識が増えますから。今、取捨選択をし、「potential」を育てることを疎かにすれば、ステップアップする歩みは遅れていくかもしれません。日々の学習で、苦手な部分の思考回路も広げて

おきましょう。

私も個人的に「夢や目標を持たなければならない」という発想には反対です。ここで書いていただいた進路主任の先生と同じように、夢や目標も進化していく可能性があると考えるからです。目標があるから頑張ることができる…なんとなく理解できますが、それが無いから頑張ることができないのではダメだと思います。

例えば、受験科目が3教科だけだとしたら、そればかり勉強したいですよね。それってまさに、必要か不必要かで決めることですよね。自分が必要だとは思ってもいなかった教科が君たちの将来にとってカギを握ることになったり、将来の職業になったりする可能性もあるのです。可能な限り、自分たち必要でないと思われるものと自分たちをつなげてみてはどうでしょうか。君たちに関係ないものなんて、きっとこの世の中にはないと思いますよ。